

平成 28 年 4 月 18 日

熊本県民の皆様へ

この度の大震災により、多くの方がお亡くなりになられました事に対し、心よりお悔やみ申し上げます。また、外傷や心理的ストレスなどの被害及び建造物への被害に遭われた方に対しても、心よりお見舞いを申し上げます。

私自身、阪神大震災の時に自宅が半壊した立場として、被災された方々の何ともいえない不安感、無念感、喪失感などは痛いほど理解できます。

しかしながら、我が日本民族はこれまでに幾度となくどうしようもない困難をくぐり抜け、逆境から立ち上がり繁栄を築きあげて参りました。多くの被災者の方が 1 日も早く復興者となって立ち上がって下さることを願うばかりです。

日本オステオパシープロフェッショナル協会は、熊本県に対して金 100 万円を寄付し復興に役立てて頂けるようにするとともに、多くの負傷者を救済するためにも、現在熊本県に在住されている治療家の皆様に対し、何らかの形で協会として貢献したいと考えております（内容については後日 HP トピックスにて発表）。

1 日も早い熊本の復興を願っております。

日本オステオパシープロフェッショナル協会
会長 下村 彰慶